

市民啓発公開講座アンケート

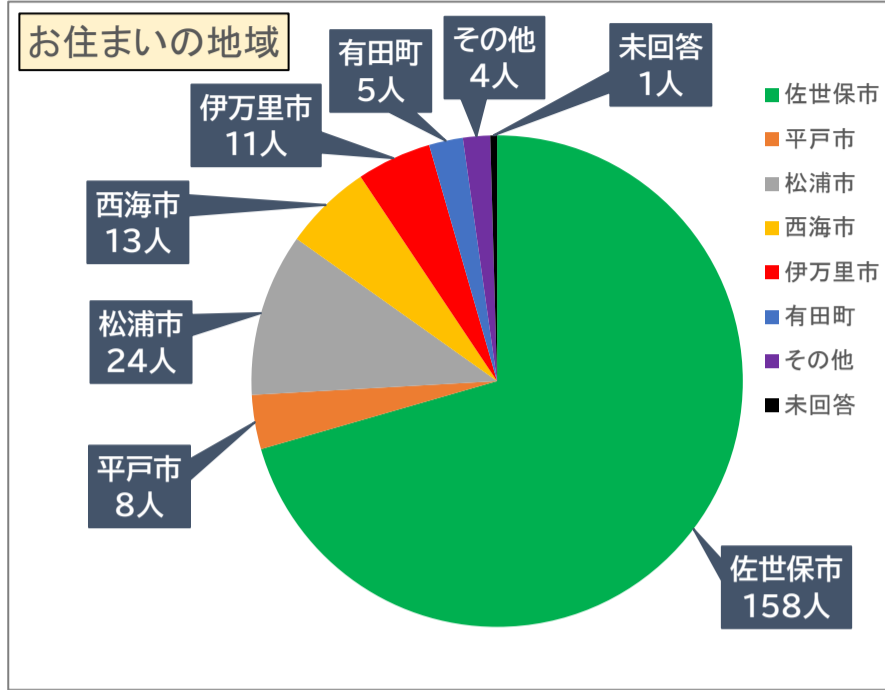
開催日：令和2年1月18日(土) 14:00~15:45

会場：アルカスSASEBO 中ホール

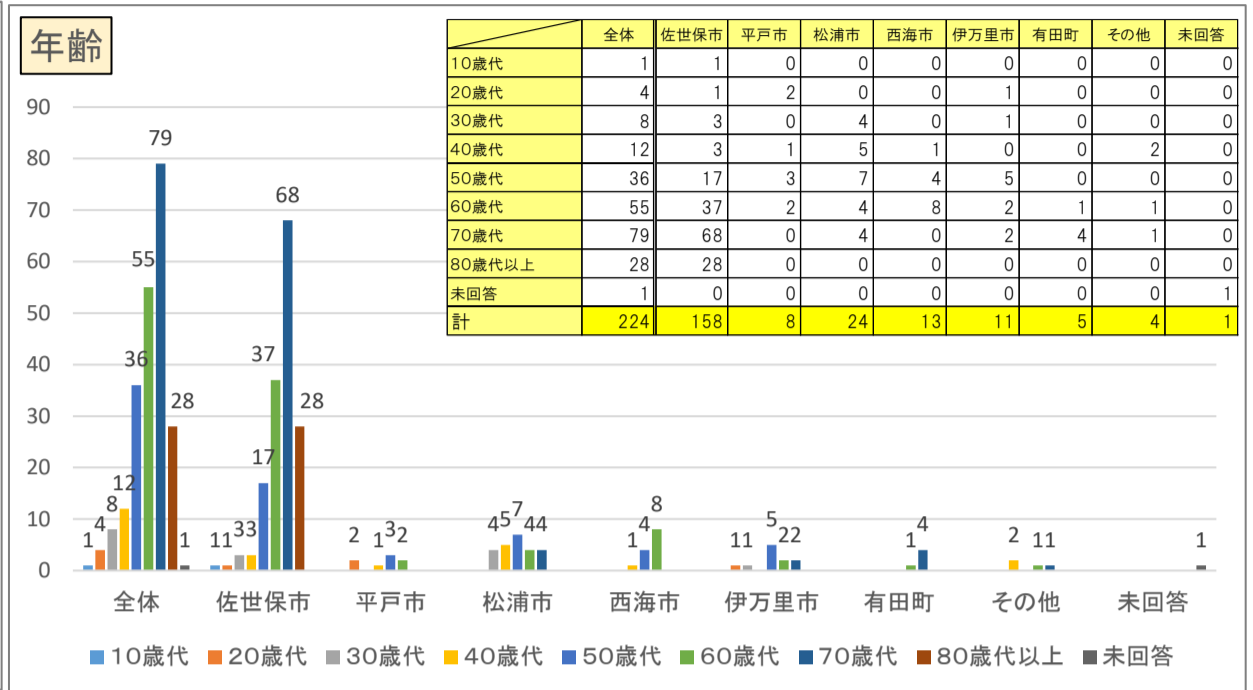


参加者数	278	アンケート対象者数	267	アンケート回答者数	224	回収率	83.9%
------	-----	-----------	-----	-----------	-----	-----	-------

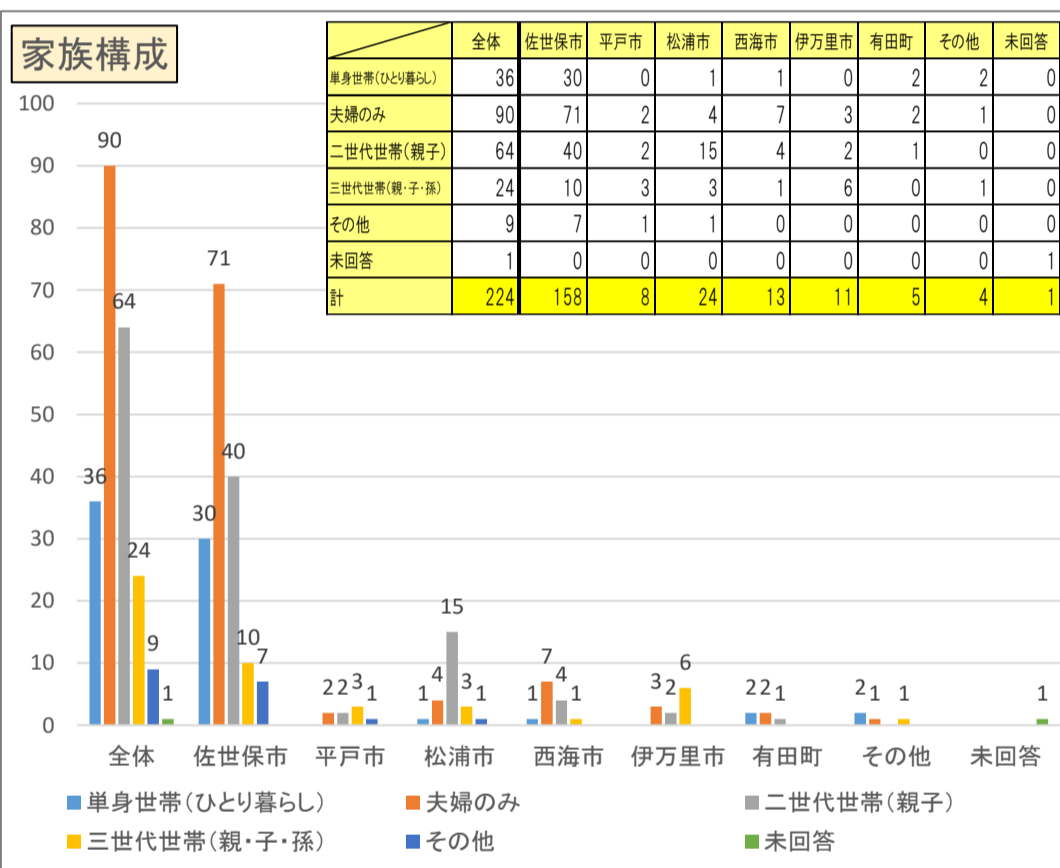
(1) あなたのお住いの地域についてお聞きます



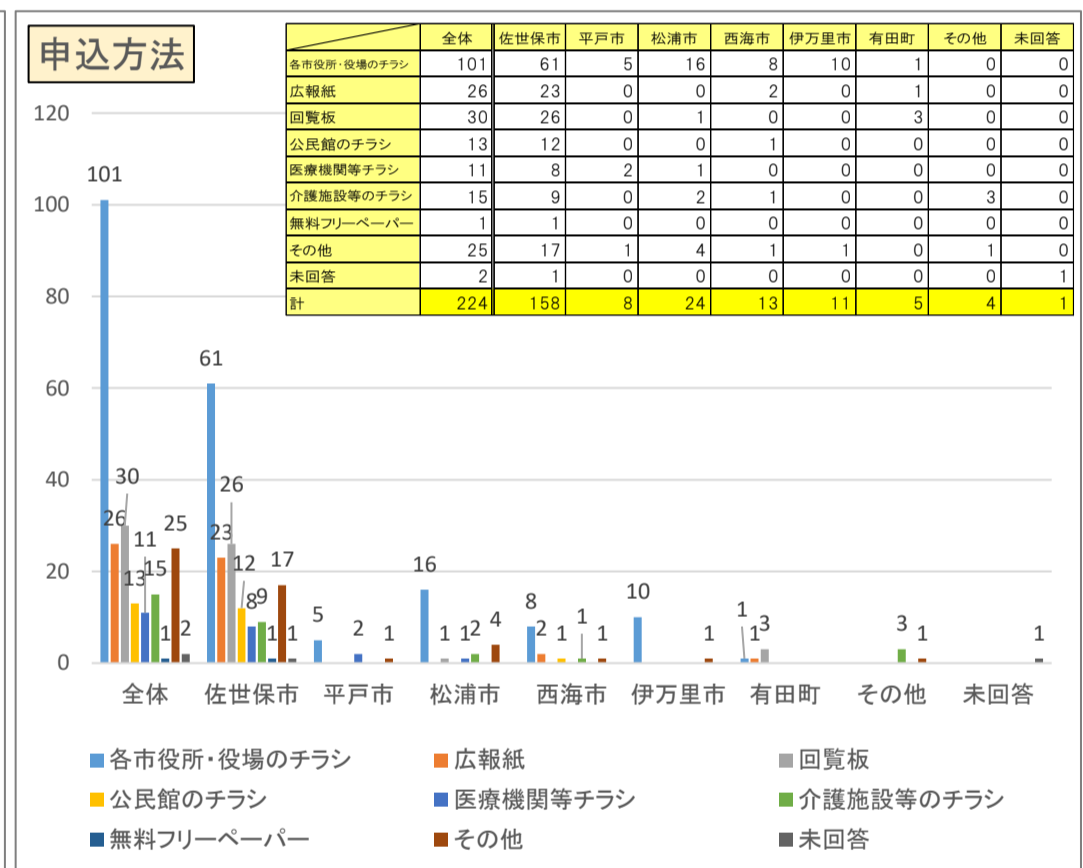
(2) あなたの年齢についてお答えください



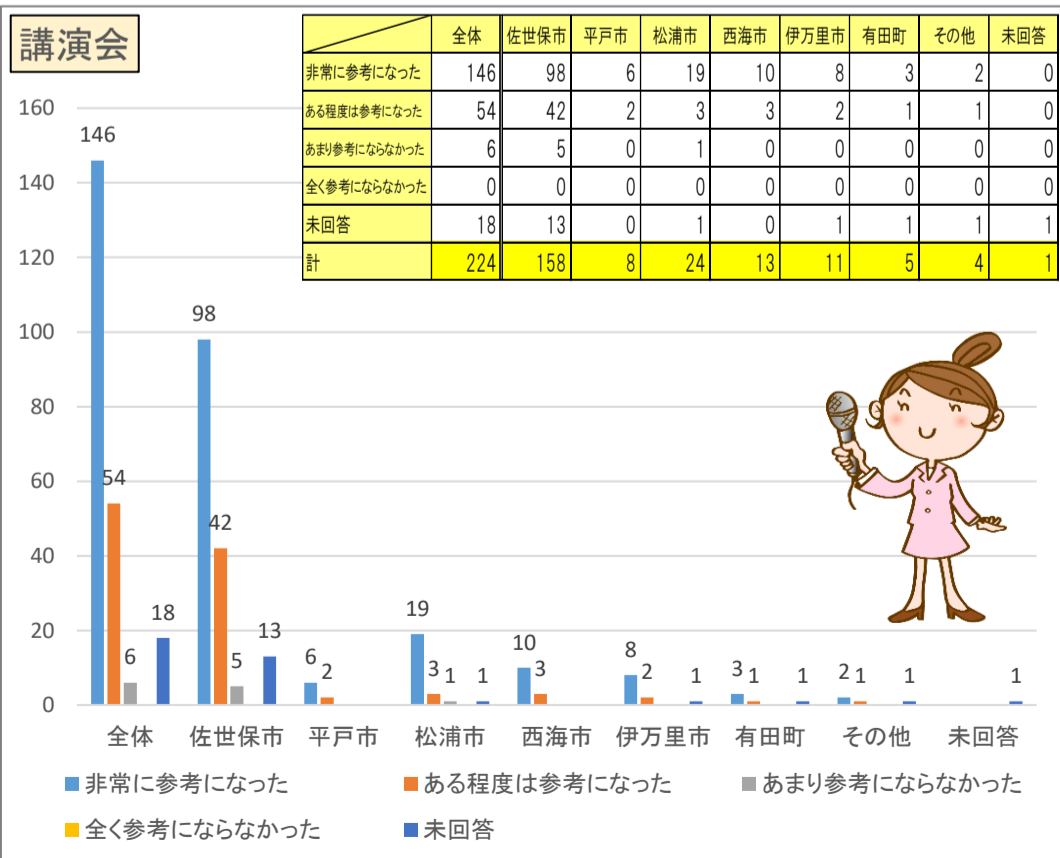
(3) あなたの家族構成についてお聞きます



(4) 今回のお申込は何をご覧になられたのお申込ですか？



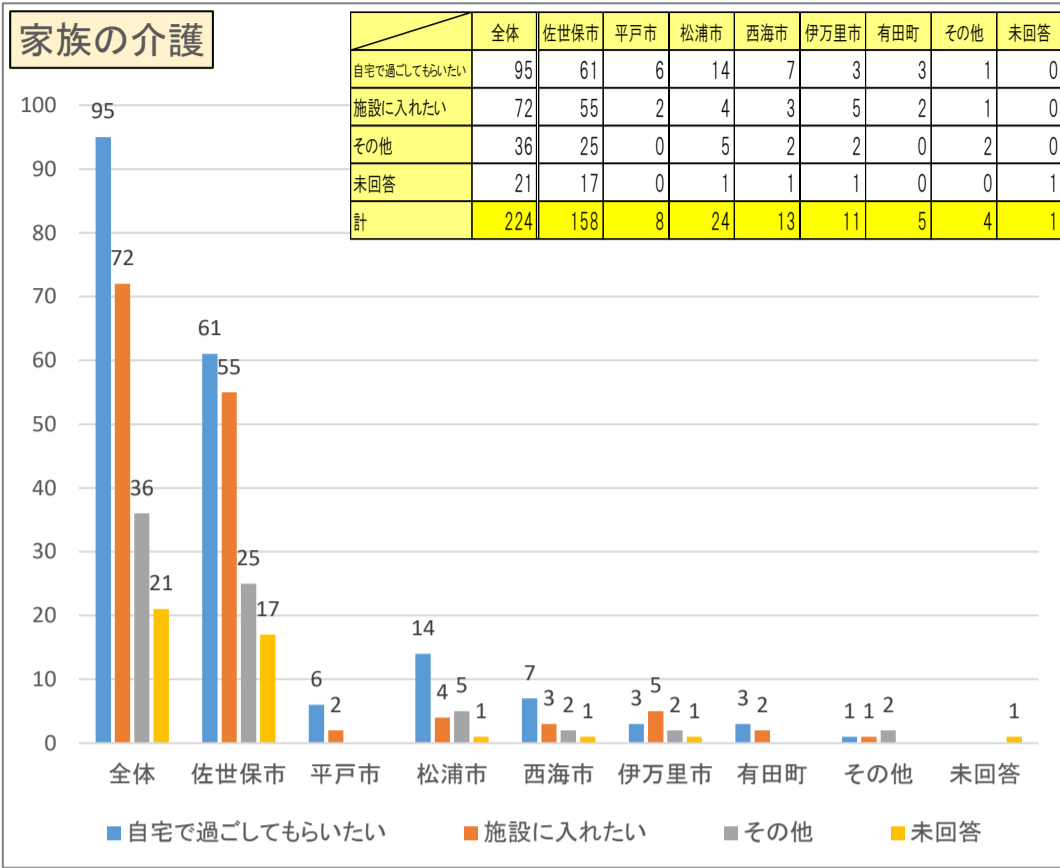
(5) 本日の、菊田あや子氏の講演会は参考になりましたか？



(6) (5) でお答えになられた理由を教えてください。

- ・私も両親二人を今後看取らなければいけないが、在宅看取りをしたいと思っているので本当に参考になった
- ・お母さまへの介護のお世話、お見事でしたね。明るく・出来るだけ、やれることをサービスの力を借りて、私らしくやってみたくです
- ・在宅介護の大変さや負の部分のみ頭の中で膨らむばかりだったが、プラス面を考えられるようになった
- ・実体験に基づくお話、とても元気と勇気をいただきました。今後の事を真剣に考えておこうという気になった
- ・菊田さんのはりのある声に、心小さくなっていて最近に元気をもらえました。まだまだ70で前向きにすごさなきゃ！
- ・90歳の母がいます。少し弱ってますが自炊します。なるべく自宅で見送りたいです
- ・父を看取りはしたのですが、バタバタだったのもう一度思い出しました。ここまではっきり話して下さる方がいなかったのが良かったです
- ・自宅での看取りをされ実行された話、同感しました。今ケアマネをしています、自宅での看取りが出来ることは幸せですね
- ・在宅で看取る(生活する)期間がやっぱり短いんだなと思いました。人が亡くなっていく過程がよくわかりました
- ・人は最後まで耳は聞こえているという事を確認出来ました。耳で感謝の言葉をかけてやりたいと思いました
- ・笑いを交えながら認知症について分かりやすく話をされており、とても参考になった。実際に体験された介護の内容がリアルで具体的で良かった
- ・お母様の幸せそうな笑顔。菊田さんが介護をやり遂げて満足されている様子を知り、在宅介護の大切さを知りました
- ・実体験をお聞かせ頂き本当にありがとうございました。母を介護しています。とても今後の事を考える貴重な時間となりました
- ・89歳の母を今後菊田さんのように見送れたらと思いました
- ・家族がしっかり看ることが出来たら、在宅医療が本人・家族の希望で出来ると思う

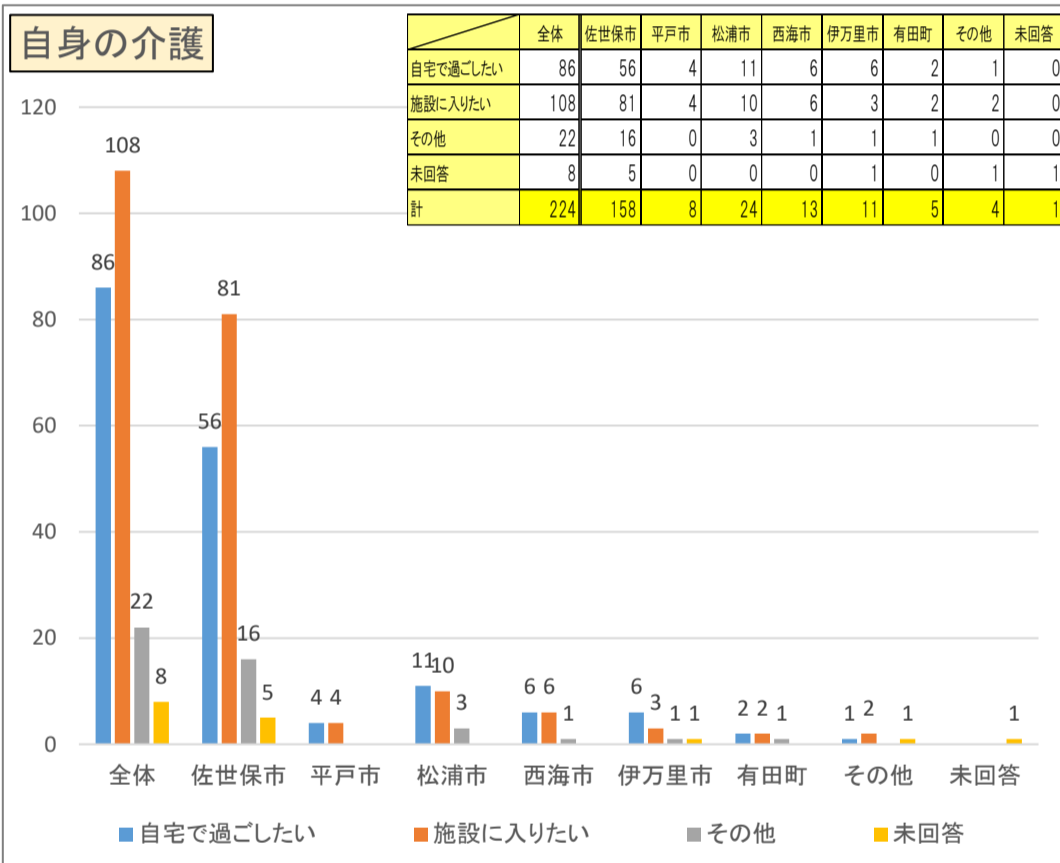
(7) あなたは、家族の介護が必要になったとき、どのようにしたいですか？



(8) (7) でお答えになられた理由を教えてください。

- 【自宅で過ごしてもらいたい】**
- ・いつもそばで見守りが出来る
 - ・本人の意思を尊重したい
 - ・私の家で過ごしています(長女)お嬢さんと孫やひ孫の協力で何とかやっています
 - ・愛する家族に感謝をしめしたい
 - ・自分が元気で支援があれば在宅の看取りは可能だと思う
 - ・住み慣れた場所で過ごしたいと思っているから、出来る限り希望をかなえてあげたい
 - ・公的な介護を利用して、自然に愛情をもって介護したい。
 - ・祖母を母が看護していたので、私もそのようにしたい
 - ・恩返しをしたい(養母)
 - ・家族には最後まで楽しみを持って生きて欲しい。機械などで生かされるのではなく、生きたいと思って過ごせるのは在宅かなと思う
- 【施設に入りたい】**
- ・自宅での介護は住まいの状況、夫婦高齢でむずかしい
 - ・介護は大変だと思う。母も施設を望んでいる。いざその時になったら家族でまた話し合う事になると思う
 - ・私自身が高齢で介護をしてあげられない
 - ・老々介護だから少し若い私たちがとても大変です
 - ・自分も高齢なので自宅では無理な事があるので
 - ・認知症がひどく(実母)一人での介護が困難になった為
- 【その他】**
- ・自宅・施設どちらも利用したい
 - ・本人と話し合い二人で決めたい
 - ・どちらともいえない。介護する知識がなく自分にやれるかどうか不安がある。一人で介護するのは気持ち労力共に限界があるのでないだろうか？
 - ・本人の希望、本人の意思を尊重
 - ・その時の家庭状況や仕事内容で、自宅で過ごしてもらおうか施設に入ってもらおうか決まると思う

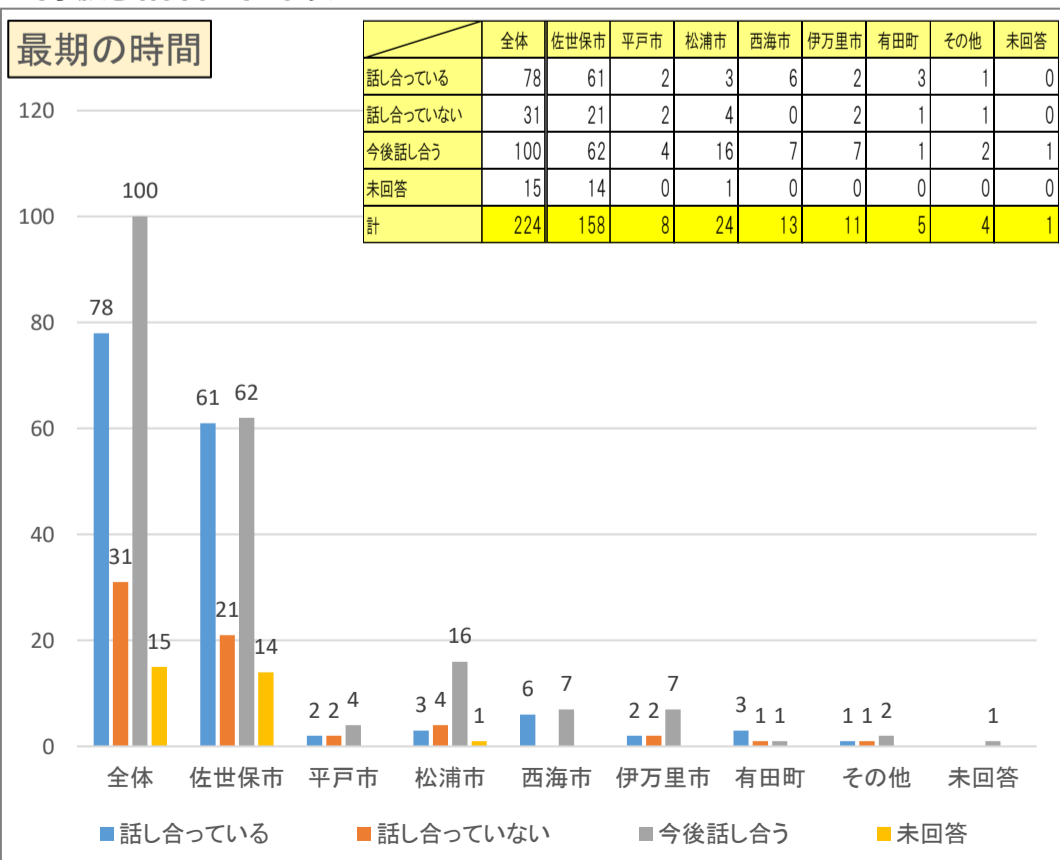
(9) あなたは、あなた自身の介護が必要になったとき、どのようにしたいですか？



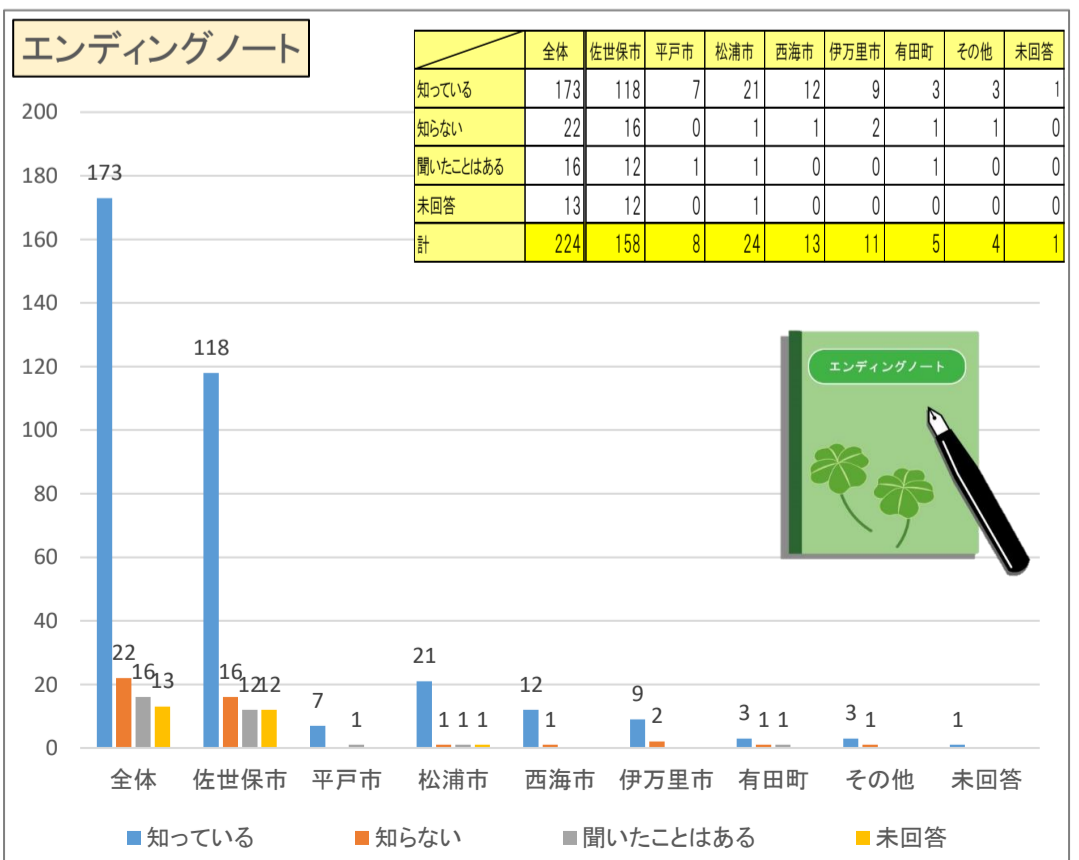
(10) (9) でお答えになられた理由を教えてください。

- 【自宅で過ごしたい】**
- ・愛する家族とすごしたい
 - ・治療を必要としているような状態でないのなら、やはり自宅で過ごしたいと思う。そういう風に家族を作っていく必要があると思う。現状は子供による親捨てが多く悲しいです
 - ・母に対して今精いっぱい暮らしやすい環境を整え喜んでいたので私もそうありたい
 - ・施設に入るお金がない
 - ・家族にいろいろ世話になると思うが、自宅が自由で良さそう。だめかな～
 - ・好きなことが出来るから(自分のペースで生きられる)
 - ・一番幸せだと思うから
- 【施設に入りたい】**
- ・子供たちに迷惑をかけられない
 - ・家族に迷惑をかけたくない
 - ・子供には負担をかけたくない。自分自身が今4人の介護歴があり、3人は他界した為1人となっているが30年位・続けているため子供には同じ思いをさせたくない
 - ・ひとりだから、世話をしてくれる人がいない
 - ・まわりの方といつまでもにこやかに過ごしたい
 - ・頼るのがあまり好きではない。プロにお任せしたい
- 【その他】**
- ・配偶者の考えに任せる
 - ・家族に負担をかけたくないで半々(自宅と施設)ならば自分自身も家族も丁度良いと思う
 - ・家族に負担をかけたくないが金銭面の不安もある。講演を聞いて最期の最期は自宅で枯れるように迎えたくなった
 - ・まだ考えていない。家族は私の生き方を尊重しているので話し合うつもり
 - ・まだ分からない。知り合いの多い自宅で過ごすのも良いが、シェアハウスのような所で気の合う人達と過ごすのが淋しくなくて良いと思う

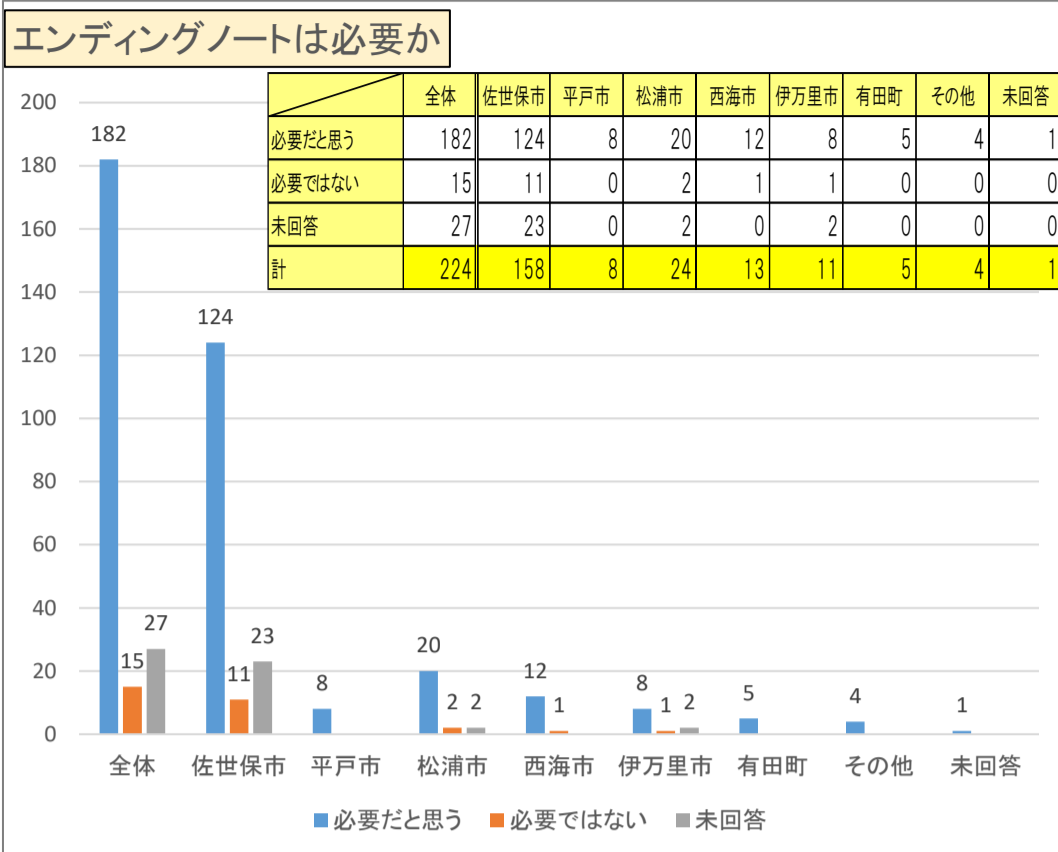
(11) あなたは、あなたやご家族の方の最期の時間の過ごし方(延命治療など)について家族と話し合っていますか？



(12) あなたは、エンディングノートを知っていますか？



(13) あなたは、エンディングノートは必要だと思いますか？



(14) (13) でお答えになられた理由を教えてください。

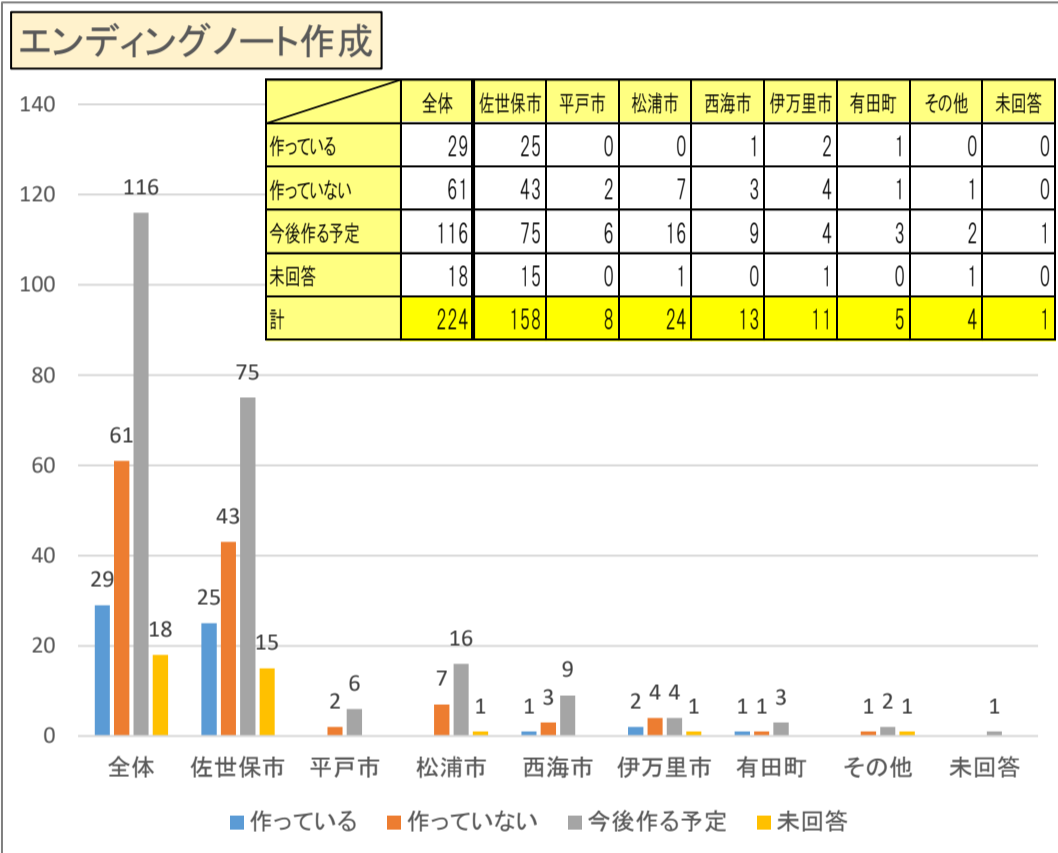
【エンディングノートは必要だと思う】

- ・今まで全て自分でしてきたので、残された者は何も分からないと思う
- ・家族に迷惑がかからないよう、また、いろんなことを知る為
- ・主人がなくなった時諸手続きが大変でした。幸い整理してあったので助かりましたが子供たちの為には必要だと実感している
- ・自分の希望を伝えておくことでいざという時に家族が困らないようにしたいから
- ・突然の死や意識不明になった場合、残された者へのせめてもの言葉と思う
- ・自分の意思がはっきりしているうちに自分の行く末は自分で決めておきたい(子供がとまどわないように)
- ・私と息子の生活が遠方の為、私の生活を知らないで万が一の時の事情を知らせておく必要があると思う。進行中
- ・日常的に話してもやはり文章にしておくとはっきり分かる
- ・家族と話し合うきっかけノートになると思う
- ・元気の時の自分の考え、思いが伝わる為に必ず必要と思います。私が必要に応じて書き換えられるよう鉛筆で記しています
- ・ノートは毎年新しく記入する事(最後の記入ではなく逆に毎年の変化を見る振り返る楽しみも出来ます)
- ・自分自身の最期を前もって考えておくこと。家族や大切な人と話し合っておくことは残される家族のためにも必要なことだと思う為
- ・自身のことは最期まで自分で決めたい

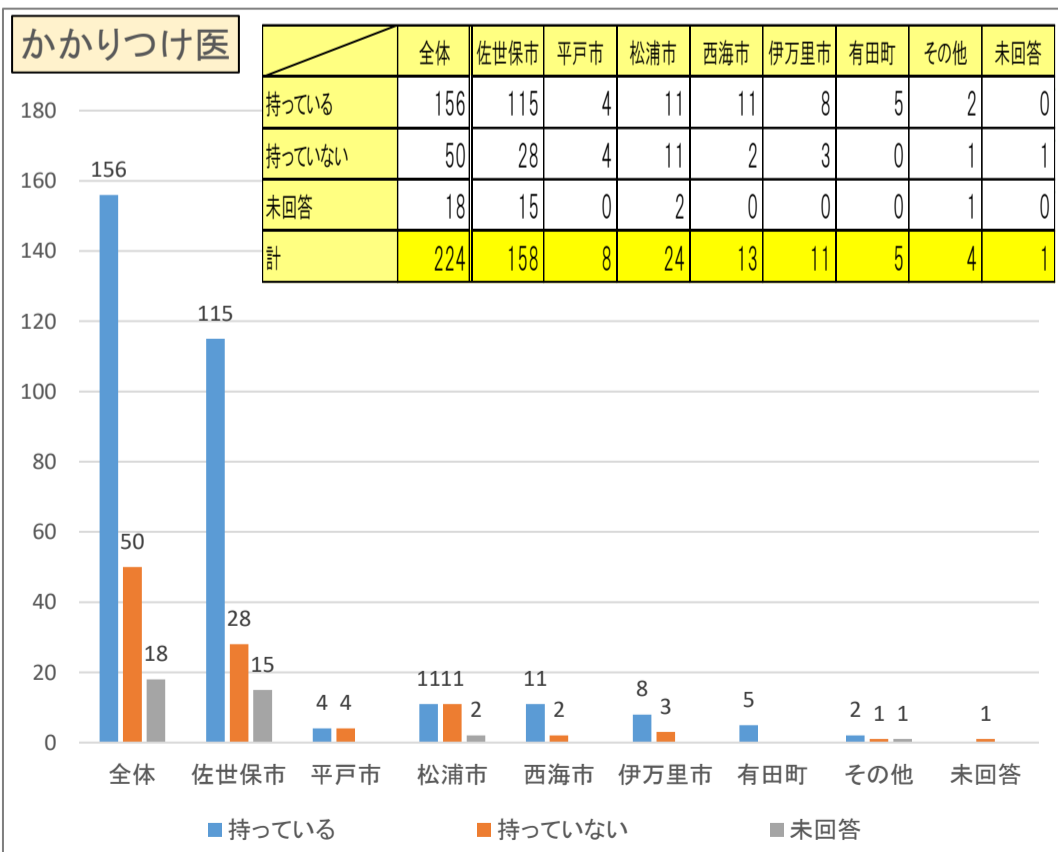
【エンディングノートは必要ではない】

- ・日頃から話をしている
- ・エンディングノートを書いても死亡した後はわからない
- ・何度か見たが形式ばっていて90%は不要。相続等大事な事だけ書類等に残せばよいと思う
- ・家族と日常の生活の中で意思を伝える事ができれば必要ないと思うが、家族との関係次第？

(15) あなたは、エンディングノートを作っていますか？



(16) あなたは、現在「かかりつけ医」はお持ちですか？



(17) かかりつけ医に望むことがあればご記入ください。

【かかりつけ医を持っている】

- ・特になし。今のまま優しい先生であってほしい
- ・今の先生は話を良く聞いて下さり専門外だったら大きな病院に紹介状を書いてくれるのでこのままできてほしい
- ・話し合いの時間を作ってほしい。3分一人の診断で終わりでは何も話せない
- ・24時間いつでも受診してほしい。先生と患者間にゆっくり会話ができれば・・・と思う
- ・高齢になられているが、後が(後継者)ないようなので安定した医療機関の確保
- ・もしも通院できなくなったとしても訪問診療・往診体制がある
- ・本人の思いをよく聞いてくれて最善策について説明してくれる信頼できる先生
- ・何かあれば電話でも相談にのってくれ、かかりつけ医で出来ない処置等あればすみやかに病院を紹介してほしい
- ・ちょっと気になる事聞いてもうんうんとうなずくだけはやめてほしい

【かかりつけ医を持っていない】

- ・本人の個性の尊重、治療の選択肢の提供
- ・現在持病や日常的に飲んでいる薬がないのでよく分からないが常に患者に寄り沿って(話を聞く)もらいたい
- ・医者倫理は違っても、本人の希望を入れてもらいたい
- ・介護医療連携に積極的にかかわってほしい
- ・なんでも相談できるといい。女性なので女医さんがいい
- ・パソコンを眺めて対応する医師が増えているが、患者ときちんと向き合い訴えをきいてくれる医師が少ない
- ・安心して相談できる内科医を探したい

(18) 在宅医療や認知症介護についてご意見ご要望などございましたら、どんなことでもかまいませんので自由にご記入ください。(今後の公開講座の参考とさせていただきます。)

【在宅医療に関すること】

- ・在宅医療として往診医の普及を心から願う。かかりつけ医との違いはあるのか
- ・死期が近い母を看取った経験から、自宅介護を検討したが、看取りのDrが見つからない。入浴介助やショートステイを検討した時に引き受ける所がなかった。佐世保は遅れていると痛感した
- ・在宅医療の専門医がもっと増えてほしい。開業医が昼休みに往診をされているが医者も疲弊すると思う
- ・在宅医療を希望するが、人手が足りないのが心配
- ・往診ができる先生がとても少ないです。特に専門の先生(泌尿器とか耳鼻科とか・・・)がいないのもっと増えたらいいと思う

【認知症介護・その他介護に関すること】

- ・家族が認知症になった時、家族だけでなくお隣等に気兼ねなく話せる(認知症だと)関係を築いていけたらと思う
- ・認知症を持つ家族の集まりがあったらいいなあ～
- ・現在お世話になっている施設のスタッフの方々、皆よく笑顔で接してくれ、声掛けも良くてくれ本当に感謝感謝でありがたく思っております。どこの施設もそうであってほしいと切に思います。やはり人手・手当・時間等の余裕があればスタッフの方々の気持ちも余裕が出来て笑顔での接しが出来ると思います。介護スタッフを大事に働きやすい世の中にと願う
- ・認知症の母に対して同じことを何度も言うのでなかなか優しく対応出来ない自分があるので、ひと呼吸おけばとは思いますが思うようにはいかない
- ・認知症のこと、そんな人との対応の仕方・考え方などをもっと知りたい
- ・認知症の人がいたら色々な制度があるので心配しないで良い、包括・福祉施設など相談の出来る場所を家族に教えて(伝えて)ほしい
- ・気持ち一つ!! 明るい介護!! 「好き!」と言ってあげる92歳の一人暮らしの認知の母、入所申し込みをしていたグループホームから連絡がありました。施設に入ってもらおうか自宅にそのままか、心がゆれます

【その他】

- ・今現在は何の心配もありませんが、いつかつれあいの介護が必要となった時、戸惑わずにできるか心配なのでもっと勉強する機会をお願いしたいと思う
- ・もっとこのような経験者の話を聞きたい。今後の自分に役に立てるように
- ・菊田さんを手本に出来るように計画しておきたい。(ケアマネジャーの手段で介護サービスが上手く使えた)
- ・老後の勉強会みたいな出来事など苦労話をする事ができる場面も必要です
- ・介護保険をもっと使い易くしてほしい
- ・町内・公民館・支所などもっと講座を増やしていただきたい。看取りについてももっと詳しく説明してほしい
- ・エンディングノートや在宅看取りに関する市民向け講座・講演会をしてほしい
- ・現代社会の大きな問題
- ・在宅で十分な介護が出来るようなシステムをどこの市、地域でも整えてほしい。情報提供も。
- ・個人情報保護法にて地域の絆が無くなった。昔ながらの地域づくり助け合う地域づくりを行う手が在宅で最期を迎えられると思う。又、介護休暇を取る事を義務化することも重要である
- ・色々な情報を取り入れる(気持ちは一つにする)
- ・健康寿命を延ばす。歩け歩け、有酸素運動を実行しよう。人生は一度です
- ・人権を守った医療・介護であってほしいと思う

